

令和 6 年度 事業報告書

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)

1. 全般

令和 6 年度は各地を豪雨が見舞うなど、災害の激甚・頻発化により、自然の驚異を実感させられる 1 年となった。

また、オリンピック・パラリンピックの日本人選手や米大リーグ大谷翔平選手の活躍に沸いた一方、政治の裏金問題や闇バイトによる強盗事件が大きな社会問題となった。

物価高騰が続く中、着実な賃上げが求められる状況下にあって、地域経済の担い手である中小企業経営者には、引き続き難しい舵取りが迫られた。

会務運営では、会員相互の融和・団結に配意しつつ、年度指針及び重視施策に則り公益社団法人に相応しい着実な事業・活動を実施したが、課題となっていた遊休財産保有制限超過については、超過額は減少したものの予期に及ばず、令和 8 年度までの解消が求められている。

2. 施策の成果

(1) 重視施策への取組み

ア 組織基盤の強化

運営基盤の根幹をなす組織において、役員および会員連携の下、会員数維持に向けて増強活動に臨んだが、有効な勧奨策が見いだせず、引き続き会員数減少となった。一方、事業を通じ会員の士気高揚、会の融和・団結を図ることが出来た。

イ 財政基盤の適正化

最大の課題である遊休財産額の減少については、保有制限の超過額は減少したものの予期の成果に及ばず、公益事業比率や収支相償とのバランスを取りながら、令和 8 年度までの解消を図る。

(2) 主要施策

ア 税務行政への協力

練馬東税務署の支援・連携のもと決算・新設法人説明会、法人税勉強会、源泉教室（源泉部会）等を実施するとともに、支部主催研修会「相続・贈与のよもやま話」（第 1 支部）によって税知識の普及に努めた。

また税務署長を講師に迎えた「税を考える週間区民の集い」講演会、「練馬まつり」での税金ミニクイズ、広報誌への税情報・解説の掲載、確定申告練馬駅頭広報などを通じ納税意識の高揚を図る等税務行政に積極的に協力した。

イ 税制への要望

税の専門家の協力を得て、税制研修委員会による税制改正の単位会意見の作成、役員対象のアンケート調査への協力等により要望を提出するとともに法人会全国大会への参加、国会議員・首長等提言書による要望を実施し、その実現を期した。

ウ 企業経営支援

脳科学者・中野信子氏の「運を科学する～運がいい人の行動パターン～」講演会、教育評論家・尾木直樹氏の「子どもも大人も居心地の良い学校・家庭・地域社会をめざして」講演会、インターネットセミナー等経営に資する情報提供、簿記研修会、「健康長寿のための簡単運動でカラダケア」（第 1 支部）、「防犯研修会」（第 4 支部）、「未来につながる薬局活用術～健康経営を活用したブランディング戦略～」 「法人会等仕事以外の活動における考え方や活用方法／DX 導入の考え方と導入した会社の実話」（青年部会）等、地域における経営者・従業員等の識能向上のための支援事業を実施した。

エ 社会貢献活動

税の啓発活動として、21 校 1,660 名の小学 6 年生に対する租税教育支援や南町小まつりでの税金ミニクイズ（青年部会）、586 通の応募を得た小学生対象の「第 15 回税に関する絵はがきコンクール」（女性部会）を実施するとともに、中学生対象の「税について

の作文」、「税の標語」においても法人会長賞を授与した。

青少年健全育成においては、小学生への防犯ハンドブックの印刷・配付、区成人の日の集いへの協賛等に引き続き協力し、収集ボランティア活動では、使用済み切手の回収によるケア・インターナショナル・ジャパンへの寄付も実施した。

また、地球温暖化対策報告書及び講習会「ゴミ問題を考える」（女性部会）等で環境問題の理解と実践に取り組むなど、広く地域社会に貢献することができた。

オ 会務運営

(ア) 総 務

9月9日公益社団法人移行後3回目となる東京都の立入検査を受検した。結果として、6項目の指摘事項を受け改善計画を提出し、適正化に向け逐次着手した。

財務面では、公益事業比率50%超は維持しているが、遊休財産の保有制限超過額の減少は予期に及ばず、引き続きの課題となった。

e-Taxの普及・推進では、役員利用率93.18%（目標92%）、会員利用率81.99%（目標80%）の成果となり、共に目標を達成した。

(イ) 組 織：[]は前年実績

a 会 員

令和6年度末会員数：2,029社（正会員1,933社、賛助会員96社）

[2,092社、正会員1,994社、賛助会員98社]

▶会員増強目標（1～12月）：厳しい増強環境を踏まえ地区目標は4 or 5
役員及び受託三社（特に大同生命営業職員）の取り組みによる成果

▷活動結果／目標：46.5P／112P[52.5P／115P]

▷目標達成支部：0／6支部[0／6支部]

▷目標達成地区：4／26地区 [3／26地区]

▶年間退会数（1～12月）：105社 [92社]

b 役 員：理事40名、監事3名

c 支部・地区組織：6支部26地区

d 部会組織（年度末部会員数）

女性部会（58名）、青年部会（97名）、源泉部会（74名）

e 委員会組織

総務、組織、税制研修、厚生、広報、社会貢献 計6委員会

(ウ) 厚生・共益事業

本部事業として会員交流会、新年賀詞交歓会、ゴルフ、バス旅行を開催、支部・部会においてもバス旅行やゴルフ、新年会等会員の交流、親睦、意見交換、異業種交流を通じて会の団結・士気が高められ、円滑な運営が図られた。

また、健康診断、保険受託三社の福利厚生制度への取り組みから、会員・企業の安心・安定に寄与することができた。

(エ) 広 報

広報誌では、税知識の普及・納税意識の高揚等紙面の公益性を確保しつつ、会員相互の情報誌としての構成を維持し、その目的を達成することが出来た。法人会の認知・周知に向けた部外広報が引き続き課題となっている。

年間発行部数：13,000部

(オ) 内部体制

事務局員各々が必要な職能の習得による機能維持に努め、円滑な会務運営に寄与した。

年度末事務局体制：事務局長以下職員5名

カ 会議の開催状況

(ア) 第13回社員総会

令和6年6月11日（火）ホテルカデンツァ東京 出席者86名（委任状946）

議案 令和5年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件

報告事項：監査報告書、令和5年度事業報告書、令和6年度事業計画書、

令和6年度収支予算書

(イ) 理事会

a 第1回理事会

平成6年4月24日（水）

ホテルカデンツァ東京地下2階「ラ・ローズ」 理事24名

第1号議案 令和5年度事業報告書案承認の件

第2号議案 令和5年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録各案承認の件

第3号議案 第13回社員総会の運営要領について

第4号議案 規程等の整備について

第5号議案 e-Taxの利用推進について

第6号議案 令和6年度講演会講師選定の件

第7号議案 役員賠償責任保険の契約について

第8号議案 利益相反取引承認の件

代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告

b 第2回理事会

令和6年8月27日（火）

ホテルカデンツァ東京地下2階「ラ・ローズ」 理事23名

第1号議案 令和6年会員増強活動推進要領（案）承認の件

第2号議案 令和6年度後半事業の概要承認の件

第3号議案 業務執行理事（常任理事）選任の件

第4号議案 令和6年度第2回講演会講師謝金承認の件

第5号議案 業務委託承認の件

第6号議案 利益相反取引承認の件

代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告

c 第3回理事会

令和6年12月9日（月）

練馬産業会館1階集会室 理事22名

第1号議案 令和6年会員増強活動終盤の取り組み承認の件

第2号議案 令和6年度上半期及び11月30日現在の事業・収支状況承認の件

第3号議案 令和6年度4／四半期事業概要承認の件

第4号議案 役員等旅費規程改定の件

d 第4回理事会

令和7年3月13日（木）

ホテルカデンツァ東京地下2階「ラ・ローズ」 理事23名

第1号議案 令和7年度事業計画書（案）承認の件

第2号議案 令和7年度収支予算書（案）承認の件

第3号議案 令和7年度資金調達及び設備投資の見込承認の件

第4号議案 令和7年度第14回社員総会招集決定（案）承認の件

第5号議案 退職給付引当資産取り崩し承認の件

第6号議案 規程一部改定承認の件

第7号議案 令和7年度講演会講師謝金承認の件

第8号議案 利益相反取引承認の件

代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告

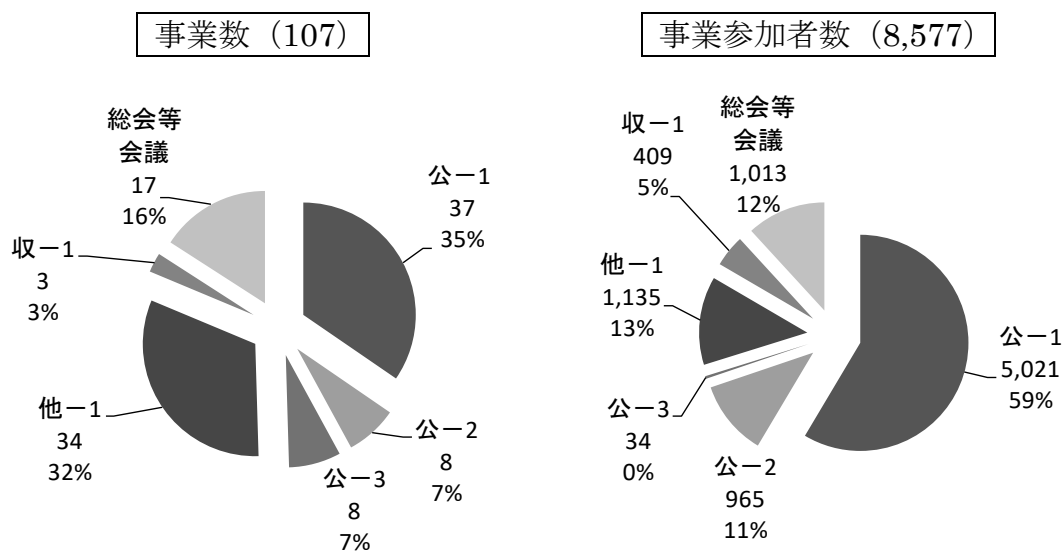
3. 令和 6 年度事業・活動結果

令和 6 年度の事業・活動はグラフに示す通り、総事業数では 107 事業と前年度より 1 事業減少、総参加者数では 8,577 名と前年度から 267 名増加となった。

参加者数を事業別に見ると、公益事業（公－1 から公－3 まで）では近年盛況となっている 2 回実施の講演会や練馬まつりによって、前年度から 300 名超増加した。

一方、共益事業（他－1）ではゴルフ、バス旅行等本部主催事業、また会活性化の要である支部主催事業や部会主催事業が回復傾向にあり、前年度から微増の 1,135 名となった。

また、総会等会議への参加状況では、本部、支部・地区、部会ともに適宜効率的に実施され、1,013 名の参加者数となった。



「凡例」に示す事業・活動内容

公－1：税知識の普及、納税意識の高揚、税制等調査・提言

公－2：地域企業の健全な発展 公－3：地域社会への貢献

他－1：会員の交流、福利厚生

収－1：公益事業等の補完（収益事業）

総会等会議：総会、理事会、常任理事会、正副会長会議、
役員会（支部・地区・部会）、委員会

なお、令和 6 年度の公益事業比率は、54.2%(前年度 55.2%)であった。

※事業報告の附属明細書は、補足すべき重要な事項がないため作成していません。